

四百四十八

明治十六年八月衛生課ノ通報ニ據ル
 本表ニ記載セシ患者ト雖モ風土水腫病ノ疑ヒアルモノハ尙ホ本年五月二十八日付番外達ノ取調書ヘ記入スルモノトス
 本表ハ毎月一表ヲ製シ翌月十日迄ニ衛生課ヘ差出スヘシ

東京府布達 甲十九年二月二十六日
號二十三 贊伊豆七島小笠原島ヲ除ク
明治十三年甲第百七十二號及明治十八年甲第五十號布達廢止ス
右布達ス

北海道廳根室支廳達乙十九年三月三十一日
第十四號郡役所
明治十八年十一月
元根室縣乙第百六十四號達廢止ス
右相達ス

北海道廳達已十九年四月十三日
第三十一號郡區役所戸長役場支廳管轄内ヲ除ク
施治患者表式左ノ通相定候條每半年分取纏メ上半期ハ七月中後半期ハ翌年一月中警察本署へ可差出旨
各病院及開業醫へ相達スヘシ
但明治十八年十月元札幌縣乙第百九十一號達ハ本年六月限り廢止候條同月分迄ハ従前ノ通差出スヘシ
右相達ス

明治何年						下半年期施治患者報告		何病院又ハ何郡區 何町村開業醫		何誰	
傳染性病		病名		別女男							
				前期患者							
				本期患者							
				合							
				計							
				治							
				癒							
				死							
				亡							

眞性微毒トハ硬性下疳、薺薇疹、錢苔、鱗屑斑、粟粒疹、扁豆疹、滋漏、平贅肉、小疱、小濃疱、大濃疱、潰爛梅毒腫、狼瘡樣梅毒、水脈腺腫、微毒腺腫、虹彩炎、骨膜炎ヲ云ヒ假性微毒トハ軟性下疳、便毒ヲ云ヒ微毒性雜症トハ麻疾、白帶下、及腔炎、子宮口潰瘍、剝脫痔疾ヲ云フ

微毒患者ハ娼妓ニ止ラス一般本症ニ罹リタルモノヲ取調フルモノトス

東京府布達第十九年五月十二日
第五十一號伊豆七島小笠原島ヲ除ク
明治十三年十二月當廳甲第百六十九號布達及明治十五年三月當廳甲第二十二號布達廢止ス
右布達ス

甲第百六十九號八十二年十二月二十四日衛生局通牒ノ下ニ載ス
甲第二十二號八十五年三月一日衛生局通牒ノ下ニ載ス
根室支廳施設患者半期報告表式

北海道廳根室支廳布達 乙十九年五月十二日
第三十一號郡役所
施治患者表式左之通相定候條上半期ハ七月中後半期ハ翌年一月中警察本署へ可差出旨開業醫へ相達ス
ヘシ
右相達ス

衛生門
醫事
治療

印スヘシ

但シ處方箋ニ藥方ヲ記スルハ楷書ノ外他ノ書體ヲ用フルヲ禁ス

第七條 貧民ハ此處方箋ヲ持シ東京府施療調藥所若クハ東京府病院本分局ノ藥室ニ持參シ調劑ヲ乞フ可シ

但現今調藥所ノ設完備セサルノ間區醫ノ藥室ニ於テ調劑スル者ハ此限ニアラス

第八條 東京府施療調藥所(若クハ東京府病院又ハ分局ノ藥室)ニ於テ某區ノ貧民施療處方箋ヲ持シテ調劑ヲ乞フ時ハ之ヲ授ク可シ

第九條 貧民若シ病症ニ由リ東京府病院及ヒ其分局若クハ區醫ノ宅ニ至リ診察ヲ受クルコト能ハサルトキハ施療券ヲ齎シ以テ其醫師ノ來診ヲ乞フ可シ

第十條 東京府牛痘施種券ハ府下各區ノ貧民自費ニテ種痘ヲ受ケ難キ者ニ限り謝料ヲ要セスシテ種接スル證券ナリ

第十一條 東京府廳ニ於テハ各區ノ人口ニ準シ翌月分施種券若干ヲ前月二十五日迄ニ各區務所ニ頒與スヘシ各區務所ニ於テハ其區内ノ貧民ヲ算シ豫メ之ニ施種券ヲ分與シ內務省天然痘豫防規則ニ遵ヒ其種接ヲ督責シ以テ牛痘普及ヲ圖ル可シ

第十二條 各區務所ニ於テ貧民ニ施種券ヲ附與スル時ハ券ノ表面ニ其貧民ノ區名町名番地戸主姓名本人姓名身分及ヒ職業等ヲ詳記シ何區務所ト記シ之ニ區務所及ヒ戸長ノ印ヲ捺シ且ツ券ノ上端ニ割印ヲ捺ス可シ

第十三條 牛痘施種ノ券ヲ持スル貧民ハ區醫若クハ東京府病院及ヒ其分局ニ至リテ種接ヲ乞フ可シ但シ區醫及ヒ分局ニ於テハ其施種券ヲ集メ毎月取經メ翌月二日迄ニ東京府病院ヘ差出ス可シ

東京府布達 第十年六月八日 第七十號

今般貧民施療券發行候處別紙區畫ノ儀ハ東京府病院本分局并ニ順天堂醫院ニテ受持候條此旨布達候事

別紙 略ス

開拓使函館支廳布達 第十年十月二十九日 第十六號 第十三大區ヨリ第十九大區マテ戸長總代町用係

從來各區中貧民病患ノ節十分ノ治療ヲ受ケ候儀モ不行届ヨリ非命ニ斃レ候儀等有之候テハ惘然ノ至リニ付今般函館病院ニ於テ藥價半額券并ニ施療券ヲ發行シ手續假ニ左ノ通り相定メ來ル十一月十六日ヨリ施行候條此旨布達候事

藥價半額券并ニ施療券發行手續

一貧窮患者函館病院ノ施療ヲ乞ハント欲シ本額ノ藥價ヲ納メ治療投劑ヲ得又赤貧無力ハ本使管轄ノ者ニ限リ施療ヲ受クルヲ得ヘシ

但外來及醫員廻診共一般患者ノ待遇ト異ナルコトナシ

一藥價半額券并ニ施療券ハ町村用係ニ下ケ渡置候ニ付貧窮及赤貧ノモノハ右係リニ申出該券ヲ受ケ携帶シテ來院スヘシ

一施療券ハ戸長町村用係ノ連印ヲ要ス然レトモ村落ノ中戸長役場ニ遠キモノ急患アルニ當テハ町村係ノ檢印ヲ以テ施療ヲナスト雖トモ翌日ヨリ三日ノ内ニ必戸長ノ檢印ヲ得テ該券ヲ病院ヘ差出スヘシ一半額券ハ町村用係リノ檢印ヲ要ス該係若シ不在ノトキ急患アルニ當テハ直チニ來院シテ事由ヲ述ヘ治療ヲ得ルト雖トモ翌日必ス該券ヲ得テ病院ヘ差出スヘシ

右ノ通假定候事

開拓使函館支廳達 第十年十月二十九日 第十三大區ヨリ第十九大區マテ戸長總代町用掛

藥價半額券并ニ施療券發行ノ儀ニ付第十六號ヲ以布達候ニ付テハ右事務戸長町村用係リヘ擔當申付該券渡シ方心得別紙之通假定候條此旨相達候事

戸長町村用掛施療券半額券渡シ方心得

第一條 町村用掛ヘ兼テ施療券十枚半額券三十枚宛相渡シ置クヘシ兩券拂切ニ相成候節ハ受拂明細書

東京府施療券發行手續
第十年十一月東京府布達
甲第百一十一號ヲ以テ改正ス

函館支廳藥價半額券并
施療券發行手續

第十年二月函館縣布達
第十號ニ依テ消滅ス
第十年十月函館支廳第百八
號ヲ以テ施療券半額券渡
方心得ヲ定ム
第十年十二月函館支廳第
百二十八號ヲ以テ本使管
轄寄附町間ハス付與セシ
ム
第十年十二月函館支廳第
百十九號ヲ以テ藥價保證
券渡方心得ヲ定ム
第十一年一月函館支廳布達
第六號ヲ以テ函館各出張
所ニ於テモ發行セシム
第十一年十一月函館支廳布
達第百九號ヲ以テ公立病
院ニ於テモ發行セシム

函館支廳藥價半額券
渡方心得

第十年二月函館縣布達
第十號ニ依テ消滅ス
第十一年一月函館支廳第
八號ヲ參照スヘシ同年同月
同布達第六號ノ下ニ載
ス

十一年一月兩縣支廳選第
八號ヲ以テ第三條附註ヲ
廢ス同年同月同廳布達第
六號ノ下ニ載ス

ヲ作り自ラ携帶シテ病院ニ來リ更ニ受取方申立ヘシ
第二條 施療券半額券施行ニ付テハ町村用掛リハ兼テ各自持場ノ貧窮及ヒ赤貧者ニ注目致シ置患者該
券ヲ乞フ者アラハ速ニ付與スヘシ
第三條 町村用係ハ各自持場ノ貧窮本使管籍寄留ヲ問ハス及赤貧者本使管籍ニ限ルニ施療券半額券ノ恤典アルヲ熟知セ
ル様平生告示スヘシ
第四條 施療券ハ戸長ト町村用係リノ連印ヲ要ス然レトモ村落ノ如キ戸長役場ニ遠キモノ急患アルニ
當テハ村用掛リノ檢印耳ヲ以テ施療ヲナスト雖トモ翌日ヨリ三日ヲ出スシテ戸長ノ檢印ヲ得テ該券
ヲ病院ヘ差出スヘシ
第五條 半額券ハ町村用係リノ檢印ヲ要ス該係若シ不在ノトキ急患アルニ當テハ本人直ニ來院シテ事
由ヲ述ヘ治療投劑ヲ得ルト雖トモ翌日必ス該係ノ檢印ヲ得テ病院ヘ差出スヘシ
第六條 兩券ハ實ニ貧窮及赤貧者ニ與フル特典ナリ故ニ如何様トモ本額或ハ半額上納差支ナキモノニ
半額券或ハ施療券ヲ與ヘ他日相顯ハル、トキハ戸長町村用係リ其責ニ任スヘシ
第七條 兩券ヘ患者ノ住所姓名年齢戸長町村用係ノ姓名等ヲ記入スルハ別紙雛形ノ通りタルヘシ
第八條 町村用係手元ニ半額券付與人各錄ト題セル帳簿ヲ備置兩券相渡シ候節々住所姓名年齢ヲ詳記
シ該券ト割印シテ相與フヘシ
兩券記入及帳簿記載方

△印ハ朱書

△町村用係付與 第幾號

△使府縣族籍

人名錄ト割印

△現今住所大小區國郡町村番地在籍

表 ○施療券

戸主又ハ父母妻子兄弟附籍

姓 名 年 齡

年 齡

裏 ○明治幾年幾月幾日

同第大區小區國郡町村用係

姓 名 年 齡

開拓使第大區戸長

姓 名 年 齡

町村用掛付與

第幾號

使府縣族籍

人名錄ト割印

△現今住所大小區國郡町村番地在籍

表 ○藥價半額券

戸主又ハ父母妻子兄弟附籍

姓 名 年 齡

年 齡

裏 ○明治幾年幾月幾日

開拓使第大區小區國郡町村用係

姓 名 年 齡

施療券 付與人各錄記載方
半額券 但美濃紙横帳

使府縣族籍

現今住所大小區國郡町村番地在籍
戸主又ハ父母妻子兄弟附籍

月日
第號
一(施療券)

姓 年 名

町村用掛本券ト割印

第號

同上

一(施療券)

姓 年 名

月日

第號

同上

一(半額券)

姓 名

月日

第號

同上

一(半額券)

姓 名

一施療券ト半額券トハ別項ニ立各自ニ番號ヲ付スヘシ
一券面朱書ノ分ハ町村用係記入スルモノトス

函館支廳藥價保渡方心得
寄附ヲ不問付與セシム
十八年二月函館縣布達中
第十號ニ依テ消滅ス

開拓使函館支廳布達 第十年十二月十七日 第十三大區ヨリ 第十九大區マテ
本年 第十百十六號ヲ以及布達候函館病院施療券ノ儀ハ本使管籍寄留ヲ問ハス付與可致且半額券ヘモ戸

長町村用係連署ヲ要シ候條此旨更ニ布達候事

函館支廳藥價保渡方心得
十八年二月函館縣布達中
第十號ニ依テ消滅ス

開拓使函館支廳達 第十年十二月二十一日 第十三大區ヨリ 第十九大區マテ戸長總代町村用係
藥價保證券發行ノ儀第四十三號ヲ以廣告候ニ付テハ右事務擔當申付該券渡方心得左之通假定候條此旨
相達候事

藥價保證券渡方心得

一保證券ハ町村用係ヘ兼テ三十枚宛相渡置ヘキニ付若シ拂切ノ節ハ更ニ病院ヘ請取方申出ヘシ
一貧窮ニ非スト雖日々藥價上納スル能ハス月末上納ヲ乞フ者アルトキハ篤ト事實及ヒ身元取糺月末上
納差支ナキト認ムルモノニ限リ別紙雛形朱書之通記入調印ノ上付與スヘシ
但月末上納差支ルト認ムル貧者ハ半額券施療券付與スルハ勿論タルヘシ
一半額券ヲ付與スルモノモ町村用掛ノ見込ニヨリ該券ヲ併セ與フルコトヲ得ヘシ
一町村用係役場ニ保證券下付人名錄ト題セル帳簿ヲ備置該券ヲ付與ノ節々住所姓名等ヲ詳記シ割印ス
ル等ハ總テ施療半額券ノ手續ト異ナルコトナシ
一藥價上納濟ノ者該券裏面合金高ヘ病院ニテ割印ノ上本人ヨリ返納セシトキハ其旨ヲ人名錄ヘ朱書シ
該券ヘ見認印ヲ捺シ置翌月四日限病院ヘ返納更ニ新券ト引換ヲ請フヘシ
一毎月末日ニ至リ該券ヲ納付セサルモノアレハ戸長總代町村用係督促周旋シテ速ニ藥價上納セシメ該
券ハ必期日通り取纏メ返納スヘシ
一萬一本月分ノ藥價滯納アルトキハ其金額完納ニ至ラサル間ハ決テ該券ヲ與フヘカラス
右之通假定候事

明治十年十二月

町利用係實印人名錄ト押切

印ハ朱書

割印

表

第 號	保 證 券
患 者 族	△使府縣士族(平民) △何郡何町(村)何番地在籍(寄留) △何某長二三男女兄妹
籍 住 所	△姓 名 印 △何年何箇月
姓 名	
保 證 ノ	
町 (村) 用	△姓 名 印
掛 姓 名	

此券ヲ携帶スル者ハ日々藥價ヲ上納セス月末(三十日)上納スル
コトヲ得ヘシ
月末ニ至リ裏面ノ金高ヲ合計シテ當院ヘ上納シ領收ヲ證スル
割印ヲ請本月中必最初請タル町(村)用掛ヘ返納スヘシ
此券ハ一箇月限用ユルモノトス翌月ニ至レハ更ニ新券ヲ請ク
ヘシ
萬一本月分ノ藥價アルトキハ其金額完納セサル間ハ斷然藥劑
ヲ與サルヘシ

明治年月日 函館病院

裏

日一十三	日八十二	日五十二	日三十二	日九 十	日六 十	日三 十	日 十	日 七	日 四	日 一
計合	日九十二	日六十二	日三十二	日 十二	日七 十	日四 十	日一 十	日 八	日 五	日 二
金納										
領收	日十三	日七十二	日四十二	日一十二	日八十	日五十	日二十	日 九	日 六	日 三
明治年月日										
納濟ハ節病院割印										
同上用掛認印										

根室支廳各病院ニ於テ
貧困患者施療券并半額
券ヲ付與セシム
十四年二月根室支廳布達
甲第七號ヲ以テ施療券取
扱手續ヲ定ム

開拓使根室支廳達節錄 第十一年一月二十五日 各區正總代(全文ハ病院)
當廳管内各病院ニ於テ各人民診察ヲ請ヒ候者ニハ夫々診斷ノ上藥劑價取立來候處本年二月一日ヨリ別
紙甲號ノ通更正藥價取立候條若シ貧窮ニシテ其價上納不能者ヘハ戶長總代等ニテ實情篤ト取調別記乙
號ノ通半額施藥二種ニ區別ヲナセシ券證ヲ可下渡答ニ付戶長總代ニ兼テ右二種ノ券證下付致シ置候條
夫々可願出爲心得此旨相達候事

(別紙)

用紙西ノ内

表面

施藥券證

願人何郡何町村
何

根室
病院印

裏面

何年何月何日

表
同

半額券證

願人何郡何町村
何

根室
病院印

何年何月何日

裏

函館支廳各病院出願所ニ
於テ藥價半額券并施療
券ヲ發行セシム

十八年二月函館縣布達中
第十號ニ依テ消滅ス

開拓使函館支廳布達 第十一年一月二十六日

函館病院ニ於テ藥價半額券并施療券ヲ發行候旨明治十年第十百十六號月十二 第二百二十八號ヲ以テ第十三
大區ヨリ第十九大區迄ヘ布達致シ候處右ハ函館病院各出張所 福山江差 壽都瀬棚ニ於テモ同一ノ手續ヲ以テ該券
發行來ル二月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

開拓使函館支廳達 第十一年一月二十六日 第十八區ヨリ第十九大區迄ヲ除ク戶長總代町村用掛

藥價半額券并施療券發行之儀第六號ヲ以テ布達候ニ付テハ右事務擔當申付候條別紙十年第十百八號
ヲ以テ第十三大區ヨリ第十九大區迄各區戶長等ヘ達ノ通可相心得此旨相達候事

但明治十年第十百八號達書第三條細註ハ同年月十二 第二百二十八號布達候ニ付自ラ消滅候儀ト可相心得事

函館支廳公立病院ニ於
テ藥價半額券并施療券
ヲ發行セシム

十八年二月函館縣布達中
第十號ニ依テ消滅ス

開拓使函館支廳布達 第十一年一月二十二日

函館病院ニ於テ藥價半額券并施療券發行候旨明治十年第十百十六號月十二 第二百二十八號ヲ以テ布達候處右ハ管
内各公立病院ニ於テモ同一ノ手續ヲ以テ施行候條此旨布達候事

開拓使函館支廳達 第十一年一月二十二日

各公立病院ニ於テ藥價半額券并施療規則施行ノ儀第九號布達候處右施療ニ宛タル藥價ハ各公立病院
ヘ官費ヲ以テ下渡候條每一月取調會計課ヘ受取方請求可致此旨相達候事

東京府衛生門ハ施療
及ニ施療トモ出願ニ及
ハス

東京府達 十二年五月十二日
丙第五十八號 郡區役所戸長役場
一般開業醫師ニ於テ貧民ハ施療及施藥致度旨是迄願出候向モ有之候共開業免狀所持之者ハ出願ニ不及
儀ニ付爲心得此旨相達候事

東京府衛生門ハ施療
及ニ施療トモ出願ニ及
ハス

東京府布達 十二年十一月七日
甲第百一十一號
明治十年六月當府甲第七十號布達施療受持區畫別紙之通改定候條此旨布達候事 別紙 略ス

東京府衛生門ハ施療
及ニ施療トモ出願ニ及
ハス

東京府布達 十三年七月一日
甲第七十號

東京府病院ニ於テ一般患者治療致來候處本日ヨリ貧困ノ患者ニ限リ施療セシメ候條此旨布達候事

東京府衛生門ハ施療
及ニ施療トモ出願ニ及
ハス

東京府布達 十三年八月二十五日
甲第九十一號 伊豆七島ヲ除ク

施療券及牛痘施種券發行規則左ノ通改正來ル九月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

東京府施療券及牛痘施種券發行規則

第一條 東京府施療券ハ府下各郡區ノ貧民疾病ニ罹リ自費ニテ醫療ヲ受ケ難キ者ニ限リ診察料及藥價
ヲ要セスシテ治療ヲ施ス證券ナリ

第二條 府廳ニ於テハ各郡區内貧民ノ多少ニ準シ翌月分ノ施療券若干前月二十五日迄ニ各郡區役所
ヘ頒付スヘク各郡區役所ニ於テハ其郡區内貧民自費ニテ醫療ヲ受ケ難キ者ニ限リ其請ヲ允シテ施療
券ヲ授クヘシ

但郡區役所ニ於テハ施療券名簿ヲ製シ一箇月限リノ番號ヲ付シ施療券ヲ附與セシ貧民ノ姓名及ヒ
員數ヲ詳記スヘシ

第三條 郡區役所ニ請取タル該月分ノ施療券ニテ足ラサルトキハ臨時ノ増付ヲ府廳ニ請フコトヲ得ヘシ

東京府衛生門ハ施療
及ニ施療トモ出願ニ及
ハス

東京府布達 十三年八月二十五日
甲第九十一號 伊豆七島ヲ除ク

施療券及牛痘施種券發行規則左ノ通改正來ル九月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

第一條 東京府施療券ハ府下各郡區ノ貧民疾病ニ罹リ自費ニテ醫療ヲ受ケ難キ者ニ限リ診察料及藥價
ヲ要セスシテ治療ヲ施ス證券ナリ

第二條 府廳ニ於テハ各郡區内貧民ノ多少ニ準シ翌月分ノ施療券若干前月二十五日迄ニ各郡區役所
ヘ頒付スヘク各郡區役所ニ於テハ其郡區内貧民自費ニテ醫療ヲ受ケ難キ者ニ限リ其請ヲ允シテ施療
券ヲ授クヘシ

但郡區役所ニ於テハ施療券名簿ヲ製シ一箇月限リノ番號ヲ付シ施療券ヲ附與セシ貧民ノ姓名及ヒ
員數ヲ詳記スヘシ

第三條 郡區役所ニ請取タル該月分ノ施療券ニテ足ラサルトキハ臨時ノ増付ヲ府廳ニ請フコトヲ得ヘシ

又剩餘アルトキハ之ヲ翌月分ヘ差繼ヘシ

第四條 各郡區役所ニ於テ貧民ニ施療券ヲ附與スル時ハ其券ノ表面ニ其町村各番地戸主姓名本人姓名
身分職業等ヲ詳記シ年月日ヲ書シ之ニ郡區役所ノ印ヲ捺シ且ツ割印スヘシ

第五條 貧民ハ此施療券ヲ受クルトキハ本府病院又ハ郡區醫ノ宅ニ就テ治療ヲ乞フヘシ若シ病症ニ由
リ往テ診察ヲ受クルコト能ハサルトキハ施療券ヲ持參シテ郡區醫ノ來診ヲ乞フヘシ

但病院ニ於テハ外出診察ヲ爲サスト雖モ場合ニ依リテハ往診スルコトアルヘシ

第六條 本府病院ニ入院スル者モ亦此施療券ヲ受ケテ病院ニ至リ診察ノ上病症ニ依リ入院スルコトヲ
得ヘシ

第七條 郡區醫ハ毎月末施療券ノ裏面ニ何月何日投藥休藥死亡或ハ療治中ノ文字ヲ記載シ檢印ノ上處
方箋ト共ニ之ヲ郡區役所ヘ差出スヘシ

但本府病院ニ於テハ同様ノ手續ヲ爲シテ各郡區役所ヘ還付スヘシ

第八條 施療券ハ一箇月限リノ證券ニツキ若シ翌月ニ涉ル時ハ患者ニ說示シテ三十日限リ更ニ新券ヲ
受取來ラシムヘシ

第九條 府廳ニ於テハ別ニ施療處方箋ヲ製シ本府病院及郡區醫ニ頒付スルヲ以テ本府病院及郡區醫ニ
於テハ之ニ藥方及其分量服方等ヲ詳記シ且ツ自己ノ姓名及年月日ヲ記シテ捺印ス可シ

但處方箋ニ藥方ヲ記スルハ楷書ノ外他ノ書體ヲ用フルヲ禁ス

第十條 郡區役所ニ於テハ毎月末本府病院及郡區醫ヨリ出セル施療券ヲ名簿ニ照シテ調査濟ヲ證シ翌
月五日マテニ取纏メ處方箋ト共ニ本府衛生課ヘ差出スヘシ

第十一條 東京府牛痘施種券ハ府下各郡區ノ貧民自費ニテ種痘ヲ受ケ難キ者ニ限リ謝料ヲ要セスシテ
種接スル證券ナリ

第十二條 府廳ニ於テハ各郡區ノ人口ニ準シ翌月分施種券若干前月二十五日迄ニ各郡區役所ニ頒付
スヘシ

十三年九月東京府布達
第百八號ヲ以テ牛痘施種
券ヲ定ム候條ノ日ニ據ス

第十三條 各郡區役所ニ於テハ其郡區内貧民ノ未痘兒ヲ算シテ之ニ施種券ヲ分付シ内務省天然痘豫防規則ニ遵ヒ其種接ヲ督責シ以テ牛痘普及ヲ圖ルヘシ

第十四條 各郡區役所ニ於テハ貧民ニ施種券ヲ付與スル時ハ券ノ表面ニ其町村名番地戸主姓名本人姓名身分職業等ヲ詳記シ年月日ヲ書シ之ニ郡區役所ノ印ヲ捺シ且ツ割印スヘシ

第十五條 牛痘施種券ヲ持スル貧民ハ府廳ヨリ定ムル所ノ施種所ニ就テ種接ヲ乞フヘシ

但郡區役所ニ於テハ之ヲ名簿ニ照シテ調査済ヲ記シ翌月五日迄ニ取纏メ本府衛生課ヘ差出スヘシ

第十六條 郡區役所ニ於テハ施種券施種券ニ用非ル印鑑ヲ豫テ本府病院郡區醫及ヒ施種所ヘ廻シ置クヘシ

東京府布達 十三年九月三日 甲第九十三號伊豆七島ヲ除ク

明治十二年十一月 當廳甲第一百十一號布達施種券受持區畫ヲ廢シ仍ホ從前ノ郡區醫ヲ解キ更ニ郡區醫ヲ置キ施種券シメ候條自今其郡區内最寄ノ郡區醫ニ就キ治療ヲ受ク可シ此旨布達候事

但郡ハ遠近ニ依リ隣接ノ郡區醫ニ就キ治療ヲ受ルモ便宜タル可シ且郡區醫ノ氏名宿所ハ郡區役所ニ於テ報告ス可シ

開拓使根室支廳布達 十四年二月一日 甲第七號

施種券取扱手續是迄區々相成居候ニ付今般別紙ノ通改正來ル三月一日ヨリ施行候條此旨布達候事

施種券取扱手續

第一條 施種券ハ管内各郡貧民疾病ニ罹リ自費ニテ醫療ヲ受ケ難キ者ニ限り藥價及診察料ヲ要セスシテ治療ヲ施ス證券ナリ

第二條 支廳ニ於テハ各郡内貧民ノ多少ニ準シ翌月分ノ施種券ヲ前月二十日迄ニ各郡役所ヘ頒付スヘク各郡役所ニ於テハ所轄内貧民自費ニテ醫療ヲ受ケ難キ者ニ限り其請ヲ允シ遠隔ノ地方ハ郡役所ヨ

東京府施種券取扱手續
廢シ更ニ郡區醫ヲ置キ
施種券シメ
十四年七月東京府布達甲
第九十四號ヲ以テ施種券
ヲ廢ス

根室支廳施種券取扱手續
續
十七年九月根室縣布達甲
第五十六號ヲ以テ廢止ス

リ戸長役場ニ移シ施種券ヲ授クヘシ

但郡役所ニ於テハ施種券名簿ヲ製シ其戸長役場ニ可渡ハ之ヲ該場ニ移シ置クヘシ

第三條 各郡役所ニ於テ貧民ニ施種券ヲ附與スル時ハ雛形ニ照シ券表ニ其町村名番地身分職業姓名等ヲ詳記シ年月日ヲ書シ一箇月限リノ番號ヲ付シ之ニ郡役所ノ印ヲ捺シ且ツ施種券名簿ヘ割印シテ下與スヘシ

第四條 郡役所ニ請取タル該月分ノ施種券ニテ足ラサルトキハ臨時ノ増付ヲ支廳ニ請フコトヲ得ヘシ又剩餘アルトキハ之ヲ翌月分ヘ差繼ヘシ

第五條 貧民此施種券ヲ受クルトキハ各官立及ヒ公立病院ニ就テ治療ヲ乞フヘシ若シ病症ニ依リ往テ診查ヲ受クルコト能ハサル場合ニ於テハ施種券ヲ齎シ來診ヲ乞フヘシ

第六條 入院スル者モ亦此施種券ヲ受ケテ病院ニ至リ診察ヲ乞フノ後チ病症ニ依リ入院スルコトヲ得ヘシ

第七條 各病院ニ於テハ毎月末施種券ノ裏面ニ何月何日投藥休藥療治中且ツ死亡ノ文字及ヒ自己ノ姓名年月日或ハ診察ノ次數（但公立ニシテ診察料ヲ取立ヘキ）ヲ記載捺印ノ上之ヲ本人又ハ代人ニ渡シ郡役所ニ差出サシメ該役所ニ於テハ裏面記載ノ廉ニ相違ナキヤ否ヲ調査スヘシ

第八條 施種券ハ一箇月限リノ證券ニ付若シ翌月ニ涉ル時ハ郡役所又ハ戸長役場ニ於テ患者ニ其旨ヲ示シ三十日限リ更ニ新券ヲ受取ラシムヘシ

第九條 郡役所ニ於テハ毎月末各病院ヨリ出セル施種券ヲ名簿ニ照シテ（戸長役場ヨリ授ケシモノハ該場ニ於テ調査シ郡役所ヘ出ス）調査済ヲ證シ翌月五日迄ニ取纏メ支廳學務係ヘ差出スヘシ

表面西ノ内紙八ツ切

第 號

何町村番地身分職業

何 誰

開拓使根室支廳	
施療券	
何郡役所印	
年月日	

東京府布達 十四年七月九日 伊豆七島小笠原島ヲ除ク

明治十三年八月當廳甲第九十一號布達中施療券廢止候條此旨布達候事

東京府施療券ノ廢止
十九年六月東京府布達第
五十八號ヲ以テ海軍又ハ吐
瀉ノ症ニ罹ル貧困者ニ
限リ當分郡區醫及開業醫
ヲシテ施療セシム

根室縣施療規則
二十年五月北海道廳令第
五十八號ヲ以テ廢止ス

根室縣布達 十七年九月十九日 甲第五十六號

施療規則別冊ノ通相定メ本年十一月一日ヨリ施行ス

但明治十四年二月舊開拓使根室支廳甲第七號布達ハ本文施行ノ日ヨリ廢止タルヘシ

右布達候事

施療規則

第一條 施療ハ管内住居ノ人民貧困ニシテ自費醫療ヲ受クル能ハサル者ニ藥價及診察料ヲ要セスシテ治療ヲ施行ス

但シ他府縣ヨリ寄留ノ者ハ其本籍財産ノ有無ヲ調査シ貧困無告者ニ限リ施療ヲ許スヘシ

第二條 入院施療ヲ願フモノハ前條ノ事實并ニ其病症ヲ調査シ藥價入院料及賄料ヲ要セスシテ入院スルコトヲ許ス

第三條 施療ヲ願フモノハ戸長又ハ衛生委員ヘ申出ヘシ戸長衛生委員ハ其自費醫療ヲ受クル能ハサル

事由ヲ取糺シ郡長代理所々轄内ハ郡長ヘ具申スヘシ

第四條 郡長ハ前條具申ニ因リ其實ヲ調査シ甲號雛形ノ施療券ヲ付與スヘシ

但遠隔ノ地方ハ便宜戸長ニ移シ取扱ハシムルコトヲ得

第五條 施療患者入院ヲ乞フカ又ハ入院施療ヲ願フモノハ其願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ戸長又ハ衛生委員ヘ差出スヘシ戸長衛生委員ハ事實取調郡長ニ具申スヘシ

第六條 郡長ハ前條ノ具申ニ因リ其實ヲ調査シ甲號及乙號雛形ノ施療券并ニ入院證付與スヘシ

第七條 縣廳ニ於テハ各郡人口ノ多少ニ準シ翌月分ノ施療券及入院證ヲ前月二十日迄ニ各郡役所ヘ頒布スヘシ各郡役所ニ於テハ施療名簿ヲ製シ置キ雛形ニ照シ券面ニ其國郡町村名番地身分職業年齡等ヲ詳記シ帳簿ニ割印シテ付與スルモノトス

第八條 施療券ヲ受ケタル者ハ其證券ヲ最寄病院ニ差出シ治療ヲ乞フヘシ若シ其病症ニ因リ往テ診察ヲ受クル能ハサルトキハ施療券ヲ齎シ來診ヲ乞フコトヲ得

第九條 醫師往診スルトキハ旅費定則ニ因リ旅費日當ヲ支給ス

第十條 病院ニ於テハ毎月施療券及ヒ入院證ノ裏面ニ左ノ項目ヲ記載シ主任醫師檢印ノ上翌月三日限之ヲ郡役所ヘ送付スヘシ

甲號雛形裏面書式

投藥月日 何藥 分量 價額

診察月日 診察料又ハ旅費

患者轉歸月日 治療日數

乙號雛形裏面書式

入院月日

入院料 賄料

患者轉歸月日 退院月日

第十一條 郡役所ニ於テハ毎月各病院ヨリ送付セシ施療券及ヒ入院證ヲ名簿ニ照シ券面記載ノ廉相違ナキヤ否ヲ調査シ主務者之ニ檢印シ翌月十日限り取纏メ丙號雛形ノ報告書ヲ添ヘ本縣衛生課ヘ差出スヘシ

第十二條 施療券及ヒ入院證ハ一箇月ヲ期限トス若シ翌月ニ涉ルトキハ郡役所又ハ戸長役場ヘ申出更ニ新券ヲ受取ルヘシ

藍色

割 印		廳 縣 室 根		券 療 施		第 何 號	
何 年 何 月 何 日		何 郡 役 所		病 名 何 誰		職 業 何 誰	

郡役所
主務者
印

何月	日往診診察料(旅費)金
何月	日散水藥
何月	日順藥
何月	何程金
何月	何圓何十何錢何釐
何月	全治死亡半治休藥或ハ治療中治療日數何日

醫師檢印

丹色

第 何 號	根 入
何國何郡何町何番地 家族ナラハ戸主 名ヲ記スヘシ	職 業 何 ノ 誰 病 名 何 年何箇月

室		何 郡 役 所 印
縣	院	
應 證		何 年 何 月 何 日

乙號雛形裏面式

何月 日 入院	何月 日 退院	合 金 何 圓 何 十 何 錢 何 釐	何月 日 全治 半治 退院 或 ハ 死亡 治療 中 入院 治療 日 數 何 日
入院料 金			
賄 料 金			
何月 日 〇 醫師檢印			

郡役所
主務者
印

丙號雛形式用紙半紙

施 療 患 者 報 告 書			
病 名	入 院 日 數	治 療 日 數	合 計
藥 價	往 診 旅 費	診 察 料	
入 院 料	賄 料	職 業	
住 所	氏 名		

施療患者報告書

函館縣貧窮者施療規則
二十年五月北海道廳令第
五十八號ヲ以テ廢止ス

函館縣布達 十八年二月二十三日
甲 第十號

貧窮患者施療規則別紙之通相定來三月一日ヨリ施行候條此旨布達候事
但藥價半額券施療券ニ關スル從前ノ布達ハ消滅ノ儀ト心得ヘシ

貧窮患者施療規則

第一條 當縣下居住ノモノニシテ藥價ノ半額又ハ其全額ヲ納メスシテ醫療ヲ乞ハントスルモノハ左ノ
各條ニ從フヘシ

第二條 藥價ノ半額ヲ以テ醫療ヲ乞フモノハ貧窮ニシテ扶助ヲ受クヘキ親族ナク其全額ヲ納メ難キモ
ノ又藥價全額ヲ納メスシテ醫療ヲ乞フモノハ賑恤ヲ受クルモノニ限ル

第三條 藥價ノ半額又ハ全額ヲ納メシテ醫療ヲ乞ハントスルモノハ所轄戸長役場戸長役場ナキ地ハ郡區役所以下同シハ
ヘ申出藥價半額券又ハ施療券ヲ受クヘシ

第四條 藥價半額券又ハ施療券ヲ受ケタル患者ハ縣立又ハ公立病院ノ醫療ヲ受クヘシ
但病院遠隔ノ地ニ於テハ開業醫ノ治療ヲ受クルコトヲ得ヘシ

第五條 藥價半額券及ヒ施療券ハ患者一人ニ一枚トシ交付ノ月ノミ其効アルモノトス若シ翌月ニ至リ
疾病尙治愈セサルトキハ其旨戸長役場ヘ申出新券ヲ受クヘシ

第六條 疾病全癒又ハ全癒セス翌月新券ヲ受クルモノハ既ニ交付シタル藥價半額券施療券ハ最初受取
タル戸長役場ヘ還付スヘシ

第七條 既ニ交付シタル藥價半額券施療券ヲ遺失又ハ水火盜難ニ罹リタルトキハ速ニ最初受取タル戸
長役場ヘ申出更ニ新券ヲ受クヘシ

函館縣達 乙十八年二月二十三日
第五號 郡區役所戸長役場縣立病院公立病院
扱順序

今般甲第十號ヲ以テ貧窮患者施療規則布達候ニ付テハ右取扱順序左ノ通可相心得此旨相達候事
但從前ノ藥價半額券施療券渡シ方心得ハ消滅ノ儀ト心得ヘシ

貧窮患者施療取扱順序

第一條 藥價ノ半額又ハ全額ヲ納メシテ醫療ヲ乞ハントスル者アルトキハ戸長戸長ナキ地ハ規則第
二條ニ依リ本人ノ身元ヲ考查シ藥價半額券又ハ施療券ヲ付與シ醫療ヲ受クヘキ病院又ハ開業醫ヲ指
示スヘシ

第二條 藥價半額券施療券ハ兼テ戸長役場戸長役場ナキ地ハ郡區役所以下同シヘ下ケ渡シ置ヘキニ付兩券渡切りタルト
キハ受取方本廳衛生課戸長役場郡區役所ヘ申出ヘシ

第三條 戸長役場ニ於テハ半額券施療券元帳ヲ備置之レヲ付與スルトキハ第一書式ノ如ク兩券ヘハ第
二書式ノ如ク患者ノ族籍氏名等ヲ記載押印及ヒ割印スヘシ

但元帳ハ半額券ト施療券トヲ區別スヘシ

第四條 縣立又ハ公立病院ニ於テハ藥價半額券施療券ヲ携帶醫療ヲ乞フモノアルトキハ通常患者ト同
一ノ取扱ヲ以テ醫療ヲ加ヘ投藥ノ時々該券裏面ヘ式ノ如ク投劑名及ヒ半額券ヘハ藥價ノ半額施療券
ヘハ其全額ヲ記入押印シ本人ヘ交付スヘシ

但半額券携帶ノモノヨリハ藥價ノ半額ヲ領收スヘシ

第五條 縣立又ハ公立病院ニ於テハ前月中兩券携帶ノモノヘ與ヘタル藥劑ノ代價ハ翌月十日迄ニ第三
書式ノ計算書ヲ製シ該券ヲ與ヘタル戸長役場所轄ノ郡區役所ヘ請求スヘシ

第六條 戸長役場ニ於テハ規則第六條ニ依リ既ニ付與シタル藥價半額券施療券ヲ還付シタルトキハ元
帳ト照合シ目錄ヲ製シテ郡役所ヘ送付スヘシ

第七條 郡區役所ニ於テハ縣立又ハ公立病院又ハ開業醫ヨリ藥價ノ請求書ヲ差出シタルトキハ戸長役
場ヨリ送付シタル兩券ト照合シ相違ナキヲ認メ受取方本廳出納課ヘ申出ヘシ

第八條 藥價半額券施療券ヲ遺失又ハ水火盜難ニ罹リタル旨届出タルトキハ醫療ヲ受クル病院又ハ開
業醫ヘ通知シ元帳ヘハ其理由ヲ記載シ更ニ相當ノ新券ヲ付與スヘシ

第一書式

施療券元帳記載例

施療券
ト割印 何年何月何日
施第何號

職 業

何

年

誰 齡

何府縣何郡區何町村何番地在籍
何郡區何番地寄留

藥價半額券元帳記載例

衛生門 醫事 治療

半額券	何年何月何日
割印	第何號

何府縣何郡區何町村何番地在籍
何郡區何番地寄留

何
年
誰
齡

第二書式

△印八朱書

第 施 療 券	又ハ開業醫名
患者族籍 住所職業 姓名年齡	戶長役場 又ハ郡區 役所印
此券ヲ携帶スルモノハ指示セラレタル病院又ハ開業醫ニ就キ藥價ヲ拂ハスシテ醫療ヲ受クルコトヲ得ヘシ 病院又ハ開業醫ハ此券携帶ノ患者ヘ藥劑ヲ與ヘタルトキハ裏面ヘ相當ノ藥價及ヒ投藥名ヲ記シ押印シテ本人ニ交付スヘシ 此券ハ疾病全癒又ハ全癒セサルモ翌月ニ至リタルトキハ速ニ先ニ受取タル戸長役場又ハ郡區役所ヘ還付スヘシ	
明治 年 月 日	
函 館 縣	

元帳
割印

明治年月日
函館縣

表

此券ヲ携帶スルモノハ指示セラレタル病院又ハ開業醫ニ就キ藥價ヲ拂ハスシテ醫療ヲ受クルコトヲ得ヘシ

病院又ハ開業醫ハ此券携帶ノ患者ヘ藥劑ヲ與ヘタルトキハ裏面ヘ相當ノ藥價及ヒ投藥名ヲ記シ押印シテ本人ニ交付スヘシ

此券ハ疾病全癒又ハ全癒セサルモ翌月ニ至リタルトキハ速ニ先ニ受取タル戸長役場又ハ郡區役所ヘ還付スヘシ

表

裏

日一十三	日八十二	日五十二	日二十二	日九十	日六十	日三十	日十	日七	日四	日一
										腎散水
										藥金何錢印
合計金	日九十二	日六十二	日三十二	日十二	日七十	日四十	日一十	日八	日五	日二
	日十三	日七十二	日四十二	日一十二	日八十	日五十	日二十	日九	日六	日三

姓 名 年 齡	住 所 職 業	患 者 族 籍	半 第 號
------------------	------------------	------------------	-------------

戸長役場
又ハ郡區
役所印

藥價半額券

△施療券ニ同シ

此券ヲ携帶スルモノハ指示セラレタル病院又ハ開業醫ニ就キ藥價ノ半額ヲ拂ハスシテ醫療ヲ受クルコトヲ得

ヘシ但シ半額ハ藥劑ヲ受取ルトキ拂フヘシ
以下施療券ニ同

元帳
割印

明治 年 月 日 函 館 縣

裏

日一十三	日八十二	日五十二	日三十二	日九十二	日六十	日三十	日一十	日七	日四	日一	施療券ニ同シ
日九十二	日六十二	日三十二	日十二	日七十	日四十	日一十	日八	日五	日二	日三	合計金
日十三	日七十二	日四十二	日一十二	日八十	日五十	日二十	日九	日六	日三		

第三書式

何月分藥價請求書

施第何號施療券

一金何圓何十何錢

內

金何十錢

金何十錢

施第何號施療券

一金、、、

內

金、、、

金、、、

合金、、、

右之通本年何月中

施療券價半額券

攜帶ノモノヘ藥劑相與候間右金員御渡有之度候也

年 月 日

何郡區長何ノ誰殿

何ノ誰 印

何郡區何町村何番地何ノ誰何々
何ノ誰 分

半額券ヘハ括弧以下ヲ加ヘシ下同シ
但一日何錢ツハノ半額何錢ツハ
但同上

何ノ誰 分

(如此一人別ニ金員ヲ區別シ尙ホ半額券ト施療券トハ各通ニ記スヘシ)

函館縣布達 十八年二月二十三日

今般第十號ヲ以テ貧窮患者施療規則布達候ニ付テハ該規則第四條但書ノ通縣立又ハ公立病院遠隔ノ地
ニ於テハ開業醫ノ治療ヲ乞ハシムル筈ニ候條右ノ開業醫ハ藥價半額券又ハ施療券ヲ攜帶治療ヲ乞フモ

函館縣布達 十八年二月二十三日
施療券
五十八號ニ依テ消滅ス

ノアルトキハ通常患者ト同様診察ノ上藥劑ヲ與フヘシ此旨布達候事
但兩券携帶ノモノヘ與ヘタル藥劑ノ代價受取方等ノ手續ハ郡區役所ヨリ指示スヘシ

東京府虎列刺及ヒ吐瀉
ニ症アル患者施療方
十八年十二月東京府布達
甲第八十七號ヲ以テ廢止
ス
十八年九月東京府達丙第
百十六號ヲ以テ取扱手續
ヲ定ム

東京府布達 十八年九月四日
甲第五十八號 伊豆七島小笠
虎列刺及ヒ吐瀉ノ二症アル患者ニシテ醫療ヲ受ケ難キ貧困者ニ限り當分郡區醫及ヒ開業醫ヲシテ施療
セシム
但本文施療券ハ區役所戸長役場ヨリ配付ス
右布達候事

東京府虎列刺及ヒ吐瀉
ニ症アル患者施療方
十八年十二月東京府達丙
第百六十五號ヲ以テ廢止
ス

東京府達 十八年九月四日
丙第百十六號 郡區役所戸長役場
今般甲第五十八號布達ヲ以テ施療券發行候ニ付テハ取扱手續左ノ通り相定メ候條郡區醫及ヒ開業醫ヘモ
達スヘシ此旨相達候事

虎列刺及ヒ吐瀉病患者施療券取扱手續

- 第一條 施療券ハ區役所戸長役場ニ於テ豫メ地主差配人ヘ適宜配付シ置クヘシ地主差配人ハ醫療ヲ受
ケ難キ貧困者ニ限り券面ヘ調印ノ上之ヲ患者ニ與フヘシ
- 第二條 施療券ヲ受ケタル者ハ之ヲ郡區醫又ハ開業醫ニ出シ治療ヲ受クヘシ
- 第三條 郡區醫又ハ開業醫ハ十日毎ニ施療券ヲ取纏メ調印ノ上患者所在ノ區役所戸長役場ヘ差出シ藥
價一日分ヲ受取ヘシ
但開業醫ハ藥價受取方ヲ郡區醫ニ依托スルモ妨ナシ
- 第四條 郡區役所ハ郡區醫又ハ開業醫ヨリ差出シタル施療券ヲ調査シ其都度藥價受取方ヲ府廳ヘ申出
ヘシ

東京府虎列刺及ヒ吐瀉
ニ症アル患者施療方
廢ス

東京府布達 十八年十二月二十五日
甲第八十七號
本年甲第五十八號布達廢止ス

東京府虎列刺及ヒ吐瀉
ニ症アル患者施療方
廢ス

東京府達 十八年十二月二十五日
丙第百十六號 郡區役所戸長役場
本年丙第百十六號達廢止候條既ニ施療券ヲ配付シ未タ藥價受取方申出サル向ハ本月二十八日限り申出
ヘシ但配付無之向ハ同日限り届出ヘシ此旨相達候事

東京府虎列刺及ヒ吐瀉
ニ症アル患者施療方
廢ス

東京府布達 十九年六月二十六日
第五十八號 伊豆七島小笠原島ヲ除ク
暴瀉又ハ吐瀉ノ兼症ニ罹リ醫療ヲ受ケ難キ貧困者ニ限り當分郡區醫及開業醫ヲシテ施療セシム
但本文施療券ハ區役所戸長役場ヨリ配付ス

東京府虎列刺及ヒ吐瀉
ニ症アル患者施療方
廢ス

東京府達 十九年六月二十六日
第百號 郡區役所戸長役場
今般第五十八號ヲ以テ施療券發行方布達候ニ付テハ取扱手續左ノ通り相定メ候條豫メ郡區醫及ヒ開業
醫ヘ通達スヘシ

暴瀉及ヒ吐瀉兼症患者施療券取扱手續

- 第一條 施療券ハ區役所戸長役場ニ於テ豫メ地主差配人等ヘ適宜配付シ置クヘシ地主差配人等ハ醫療
ヲ受ケ難キ貧困者ニ限り券面ヘ調印ノ上之ヲ與フルモノトス
- 第二條 施療券ヲ受ケタル者ハ之ヲ便宜郡區醫又ハ開業醫ニ差出シ治療ヲ受クルモノトス
- 第三條 郡區醫又ハ開業醫ハ一箇月毎ニ施療券ヲ取纏メ調印ノ上患者所在ノ區役所戸長役場ヘ差出シ
藥價一日分
金六錢ヲ受取ルモノトス

但開業醫ハ藥價受取方ヲ郡區醫ニ依托スルモ妨ナシ
第四條 區役所戸長役場ハ郡區醫又ハ開業醫ヨリ差出シタル施療券ヲ調査シ其都度藥價受取方ヲ當廳
（戸長役場ハ郡區役所ヲ經テ）ヘ申出ヘシ

東京府醫事ハ吐瀉ノ
兼症者施療方ヲ廢ス

東京府令 十九年十一月二十四日
第四十四號

本年六月布達第五十八號ヲ廢止ス

北海道廳令 二十年五月二十八日
第五十八號

施療規則左ノ通相定メ本年六月一日ヨリ施行ス

但明治十七年九月根室縣甲第五十六號布達及同十八年二月函館縣甲第十號布達ハ本則施行ノ日ヨリ廢止
ス

貧窮患者施療規則

- 第一條 本道人民疾病ニ罹リ貧窮ニシテ自費治療シ能ハス施療ヲ受ントスルモノハ此規則ニ據ルヘシ
第二條 此規則ニ依リ施療ヲ受ク可キモノハ左ニ記載シタル貧窮者ニ限ルモノトス
一 地方稅ノ戸數割及ヒ區町村費ノ賦課ヲ免除シタル者并其家族
一 賑恤規則ニ據リ救育米ノ給與ヲ仰ク者并其家族
第三條 施療ヲ受ケント欲スル者ハ所轄郡區役所又ハ戸長役場ニ申出施療券ヲ受クヘシ
第四條 施療券ヲ受取タル者ハ券面ニ記載スル病院又ハ開業醫ノ治療ヲ受クルコトヲ得
第五條 施療券ハ一人一枚トシ交附ノ月ニ限り其効ヲ有ス若シ翌月ニ涉リ疾病尙全癒セサルトキハ更
ニ新券ヲ受クヘシ
第六條 疾病全癒セシトキ又ハ他郡區他部内ヘ移轉シタル時ハ已ニ受取タル施療券ヲ當初發付セシ郡
區役所戸長役場ニ還納スヘシ

新券ヲ受タルトキ舊券還納ノ手續亦同シ

- 第七條 水火盜難若クハ遺失毀壞等ニ依リ施療券ヲ失フタルトキハ當初發付セシ郡區役所戸長役場ニ
申出新タニ施療券ヲ受クヘシ

北海道廳令 二十年六月三日
第五十八號

今般廳令第五十八號ヲ以テ貧窮患者施療規則相定候ニ付取扱手續左ノ通定ム
但公私立病院開業醫ヘハ郡區役所ヨリ達方取計フヘシ

貧窮患者施療取扱手續

- 第一條 貧窮患者醫療ヲ乞ハントスル者アルトキハ郡區役所又ハ戸長役場ニ於テ之ヲ審査シ規則第二
條ニ該當スルモノハ施療券ヲ付與シ醫療ヲ受クヘキ病院又ハ開業醫ヲ指示スヘシ
第二條 施療券ハ豫テ見積ヲ立テ郡區役所ヨリ本廳第一部ヘ請求スヘシ
第三條 郡區役所戸長役場ニ於テハ施療券臺帳備置キ施療券ヲ付與スルトキハ第一號式ノ如ク患者ノ
族籍氏名等ヲ記載スヘシ
第四條 施療券ヲ携帶醫療ヲ乞フ者アルトキハ病院又ハ開業醫ハ通常患者ト同ク醫療ヲ加ヘ投藥ノ時
々該券裏面ヘ第二號書式ノ如ク投劑名及ヒ藥價ヲ記入押印シ本人ヘ交付スヘシ
第五條 病院又ハ開業醫ハ第三號書式ニ從ヒ前月中ノ藥價請求書ヲ作り翌月十日ヲ期シ施療券ヲ發シ
タル郡區役所戸長役場ニ送付ス可シ
第六條 施療券ヲ還付シタルトキハ臺帳下照合シ其旨ヲ記載スヘシ
第七條 郡役所戸長役場ハ病院又ハ開業醫ノ送付シタル藥價請求書ヲ審査シ金額受取方本廳第四部ヘ
請求ス可シ
第八條 病院又ハ開業醫藥價ヲ領收シタルトキハ第四號書式ニ從ヒ其證書ヲ差出ス可シ
第九條 水火盜難若クハ遺失毀壞ニ依リ更ニ施療券ヲ乞フモノアルトキハ其旨臺帳ヘ記入シ新ニ之ヲ

付與シ其醫療ヲ爲ス病院又ハ開業醫へ通知ス可シ
(書式闕ク)

文部省ヨリ東京大阪兩府へ達 八年三月二十三日

醫制第四十五條第四十六條醫師施治ノ患者死去届并惡性傳染病届ノ儀別紙ノ通管下へ布達可致尤死去
届書ハ毎月其府ニ於テ取纏置毎年兩度七月傳染病届書ハ其時々當省へ可差出此旨相達候事

醫師施治ノ患者死去スル時ハ七日内ニ其病名經過ノ日數及ヒ死スル所以ノ原由ヲ記シ 等ノ類ヲ云フ醫
師ノ姓名年月日ヲ附シ印ヲ押シテ醫務取締ニ出スヘシ

醫師惡性傳染病 第拾私虎列刺痘疹麻疹紅アルコトヲ察セハ急速醫務取締及ヒ區戸長ニ届クヘシ
熱百日咳赤痢ノ類ヲ云フ

醫務局ヨリ文部省へ伺 八年三月二十二日

死亡届并惡性傳染病届等ノ儀ハ衛生上重要ノ件ニテ管一般病者ノ爲ノミナラス自然醫士ノ學術ヲ誘
導スル一端ニテ其裨益不少儀ニ付醫制中ノ二條ヲ摘ミ左案相添東京府大阪府へ御達相成度御決議相
伺候也

東京府達 第八年三月二十八日 區長醫務取締戸長

別紙之通文部省ヨリ爲相達候間其筋之者へ可相達事(別紙文部省達ト)
但醫師ヨリ差出候届書ハ時々當府醫務取扱へ可差出事

東京府達 第八年四月二十三日 區長戸長

醫師施治之者患者死去スル時ハ七日ノ内ニ其病名云々醫務取締へ届出又ハ惡性傳染病云々ハ醫務取締
及ヒ區戸長へ可届出文部省ヨリ爲相達候ニ付其旨第六號ヲ以其筋之者へ可相達段達置候處當分ノ間各
區扱所へ届出候様其筋之者へ致通達差出候書面ハ毎月當府醫務取扱へ可差出此旨相達候事

醫師施治ノ患者死去届
并惡性傳染病届

十年八月内務省達乙第七
十九號ヲ以テ處別制届
出方ヲ定ム九年二月八日
内務省達ヲ以テ死亡届書
式ヲ改正ス
醫師ハ七年八月十二日交
部省達スル所ナリ衛生總
ノ日ニ載ス

東京府死亡届出方

九年九月東京府布達第百
號ヲ以テ改正ス
第六號ハ東京府八年三月
二十八日達スル所ナリ八
年三月二十三日文部省達
ノ下ニ載ス

醫師施治ノ患者死去ノ
トキ届出方

十六年六月内務省達乙第
二十八號ヲ以テ廢止ス衛
生總ノ日ニ載ス
九年四月内務省達乙第四
十四號ヲ以テ數箇ノ施治
ヲ受ケタル患者ノ死亡届
書差出方ヲ定ム
九年十月内務省達乙第百
二十四號ヲ以テ書式中へ
必ス本人關係ヲ記載セシ
ム

九年十二月内務省達乙第
百三十九號ヲ以テ書式中
ヲ改正ス

東京府死亡届書式

九年九月東京府布達第
百號ニ依テ訂正ス
第六號ハ八年三月二十三

内務省達 乙第九年二月五日 各縣

管内醫師施治ノ患者死亡スル時ハ左ノ書式ニ準シ遺漏ナク區戸長若クハ醫務取締ヲ經テ管廳へ爲届出
半箇年宛取纏メ二月ヲ限リ當省へ可差出此旨相達候事

内務省ヨリ東京京都大阪三府へ達 九年二月八日

昨明治八年三月中文部省ニ於テ相達候(京都府へハ及指令候)患者死亡届之儀今般別紙之通各地方へ相
達候ニ付自今右書式ニ準シ可届出此旨相達候事

書式

死亡届 料紙半紙二ツ折

病名 年號月日死

何府何大區何小區何町村

何某父母兄弟妻子

何業何職

姓 名 年 齡

右ハ私施治ノ患者ニ候處死去候間此段御届申上候也

何府何大區何小區何町村番地

醫師

姓 名 印

年號月日

何縣

參事

何

某

殿

衛生局ヨリ内務省へ伺 九年二月八日
病死人員取調ノ儀ハ各地ノ風土季候飲食習俗職業等ニヨリ病症ノ緩急流行病ノ有無死亡ノ多少并ニ
各地醫術ノ進否ヲ勘察シ得ヘキ衛生緊要ノ事項ニ付三府ニ於テハ昨八年三月以來施行相成候間甲案
各地方へ乙案三府へ御達相成候様致度此段相伺候也

東京府達 第九年二月十日 區長

醫師施治ノ患者死去届ノ儀明治八年三月當府第六號同四月第十八號ヲ以相達置候處向後届書式左ノ通

相認可届出旨各區醫師ノ者へ無遺漏可告諭事
但届日限ノ儀ハ兼テ達ノ通可心得事
死亡届 料紙半紙二ツ折

東京府第何大區何小區何町村

他管下ノ者ハ本籍モ書入ルヘシ

何某父母兄弟妻子

何業何職 姓 年 名

右ハ私施治ノ患者ニ候處死去候間此段御届申上候也

東京府第何大區何小區何町村番地

他管下ノ者ハ本籍モ書入ルヘシ

醫師 姓 名 印

年號月日

東京府權知事楠本正隆殿

內務省達 九年四月一日

醫務ノ施療ヲ受タル患
者死亡ノ簡相書差出方
序
十六年六月內務省達乙第
二十八號ニ依テ消滅ス

當省本年乙第十三號ヲ以テ患者死亡届ノ儀相達候處右届書差出方順序醫師ヨリ直チニ差出候テハ數醫
ノ施療ヲ受タル患者死亡ノ節醫師各自届出重複シ或ハ互ニ譲リ合等閑相成候儀モ可生ニ付主任ノ醫師
ハ必ス届書ヲ死者ノ家人ニ附與スヘク家人ハ必ス之ヲ請求シテ該病家ヨリ區戸長或ハ醫務取締ニ爲届
出候様可取計此旨更ニ相達候事

內務省ヨリ東京京都大阪三府ヘ達 九年九月五日

本年二月八日付ヲ以テ相達候患者死亡届ノ儀ニ付別紙ノ通り各地方ヘ相達候條自今右ニ準シ爲届出候
様可致テ爲心得ニ作ル此旨更ニ相達候事

二月八日付達ハ九年二月
內務省乙第十三號ノ下ニ
載ス

東京府死亡届差出方順
序

十三年七月東京府甲第七
十五號ヲ以テ廢止シ更ニ
死亡届并相達候規則ヲ定
ム第六號ハ八年三月二十
三日文部省達ノ下ニ載ス

東京府布達 九年九月二十日

醫師施治ノ患者死去スルトキハ七日内ニ其病症云々各區務所ヘ可届出旨去八年三月本廳第六號及ヒ同
年四月第十八號ヲ以テ相達置候處各地方一般死亡届差出方順序內務省ヨリ達ノ趣モ有之候ニ付左ノ通
改正本年十月一日ヨリ施行候條無懈怠様可相心得此旨布達候事

死亡届差出方順序

第一條 醫師施治ノ患者死去スルトキハ即時其病症及ヒ經過ノ年月死ニ至ルノ原因ヲ明瞭ニ記載シ第
一號雛形ノ届書ヘ調印ノ上死者ノ家人ヘ付與スヘシ

但傳染ノ徵候アルカ或ハ流行ノ惡疾ナルトキハ患者死亡ハ勿論死ニ至ラサルモ其症證及ヒ豫防ノ
見込ヲ具狀シ區務所ヘ差出スヘシ

第二條 死者ノ家人ハ必ス醫師ノ届書ヲ請求シテ自家ノ届書ト俱ニ該區務所ヘ差出スヘシ

第三條 區務所ニ於テハ前條ノ如ク届出ノ時々之レヲ調査シ月々取纏メ翌月五日ヲ限リ本廳第一課ニ
差出スヘシ

但傳染病流行病等醫師ヨリ別段届出ノ分ハ其時々無遲滞本廳ヘ差出スヘシ

第四條 數人ノ醫ニシテ施治セシ患者死去スルトキハ主任ノ醫師ヨリ届書ヲ死者ノ家人ニ與フヘシ

第五條 若シ頓死或ハ急症ニシテ醫ヲ招クノ暇ナク死去セルモノアレハ速ニ該區務所ヘ申出第六條ノ
如區內當番醫ノ檢案ヲ請フヘシ

但該家別ニ要請スヘキ醫師アルモノハ必シモ區內當番醫ニ請求スルニ及ハス

第六條 毎小區居住ノ醫師官ニ奉職ノ申合セ該區限リ兩名以上當番ヲ定メ一週間適宜ニ任ス其都度當
番ノ日限ヨリ三日以前其姓名ヲ區務所ヘ届置キ第五條ノ如キモノアレハ速ニ其家ニ至リ死體ヲ檢案
シ第二號雛形ノ届書ヲ家人ニ與フルコト第一條ノ通りタルヘシ

但當番ノ醫師死者ノ家ニ至ルコトヲ怠リ埋葬等ノ障礙ヲ醸スモノハ其時々區務所ヨリ本廳ニ届出